

○高齢化等による耕作放棄地の防止対策の取組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道空知郡南富良野町下金山 <small>そらちぐんみなみふらのちょうしもかなやま</small>			
協定面積 144 ha	田 (100%) もち米 麦 牧草等	畑	草地	採草放牧地
交付金額 1,033万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	集落の各担当者の活動に対する経費		2%
		農業生産活動に対する経費		15%
		農業生産活動等の体制整備に対する経費		23%
		その他	10%	
協定参加者	農業者 26人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

当集落は、農家の高齢化や担い手の減少による耕作放棄地の増加が懸念されていることから、農業機械の共同利用を推進し、作業効率の向上を図るとともに、作業受委託を実施し、労働力の不足を解消する必要があった。

このため、本制度を活用し、機械の共同利用や作業受委託を行うとともに、併せて水路や農道の管理等に取り組んでいる。

3. 取組の内容

農業者の高齢化が進み、作業の省力化や経費の節減のために農作業受委託や農業機械の共同作業を進めている。平成22年度には小麦の播種作業と整地作業を合わせて約60haの農用地において実施している。

また、地場産農産物等を加工・販売するため、下金山集落と隣接する金山集落の協定参加農家が合同で集落内に農産物直売所「さくら」を平成18年4月に開設し、年間の売り上げ額は約530万円ほどとなっている。

その他にも、水路の改修や農道のコンクリート舗装や、集落内の地域活動・行事にも積極的に取り組んでいる。



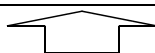
【共同による草刈り作業】



【作業受委託、共同作業】

【集落の将来像】

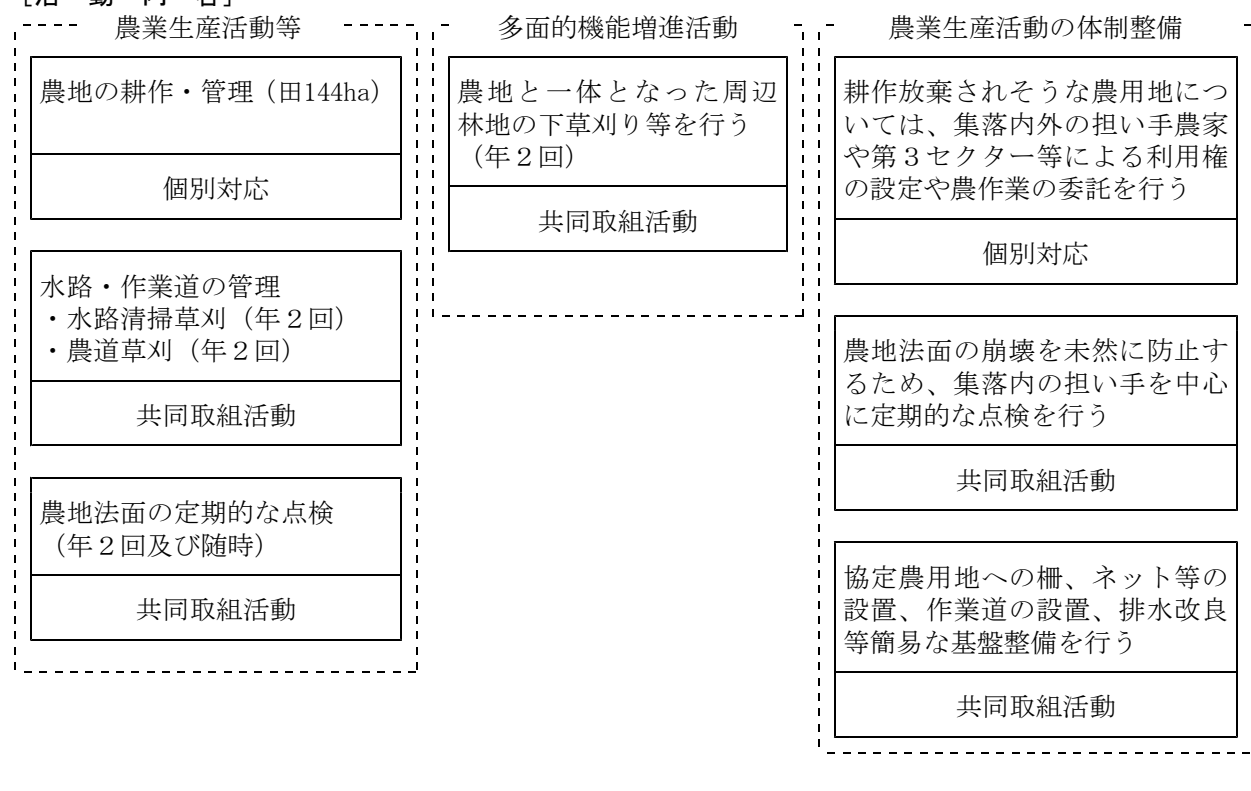
- 当集落では、農業者の高齢化などにより、今後、耕作放棄地の広がりが懸念されることから、担い手を中心とした、農業機械での共同利用の推進、労働力不足を解消するための作業受委託などに取り組む。



【将来像を実現するための活動目標】

- 機械・農作業の共同化等営農組織の育成
- 地場産農産物等の加工・販売組織の育成
- 鳥獣による被害の防止対策、維持管理

【活動内容】



4. 今後の課題等

- ・対象農用地の管理をはじめ共同取組活動は、適正に実施し計画した目標を達成する。集落全体の農業収益の向上を目指し有効に活用する。
農産物直売所「さくら」の運営主体をどのようにするか法人化等を含め検討中

【第2期対策の主な成果】

- 水路管理、農道管理の適正な維持管理ができた。（水路の清掃 500m、水路の補修 300m）
- 離農等による、耕作放棄地の新規発生が防止できた。（新規発生面積 0 ha）
- 鳥獣害対策として鹿柵を道営中山間総合整備事業により整備し、被害の低減が図られた。